

福島復興本社における  
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況  
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	5
○ 復興推進活動状況	_____	6	～	7
○ 流通促進活動状況	_____			8

# 原子力損害賠償の進捗状況について

## <原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

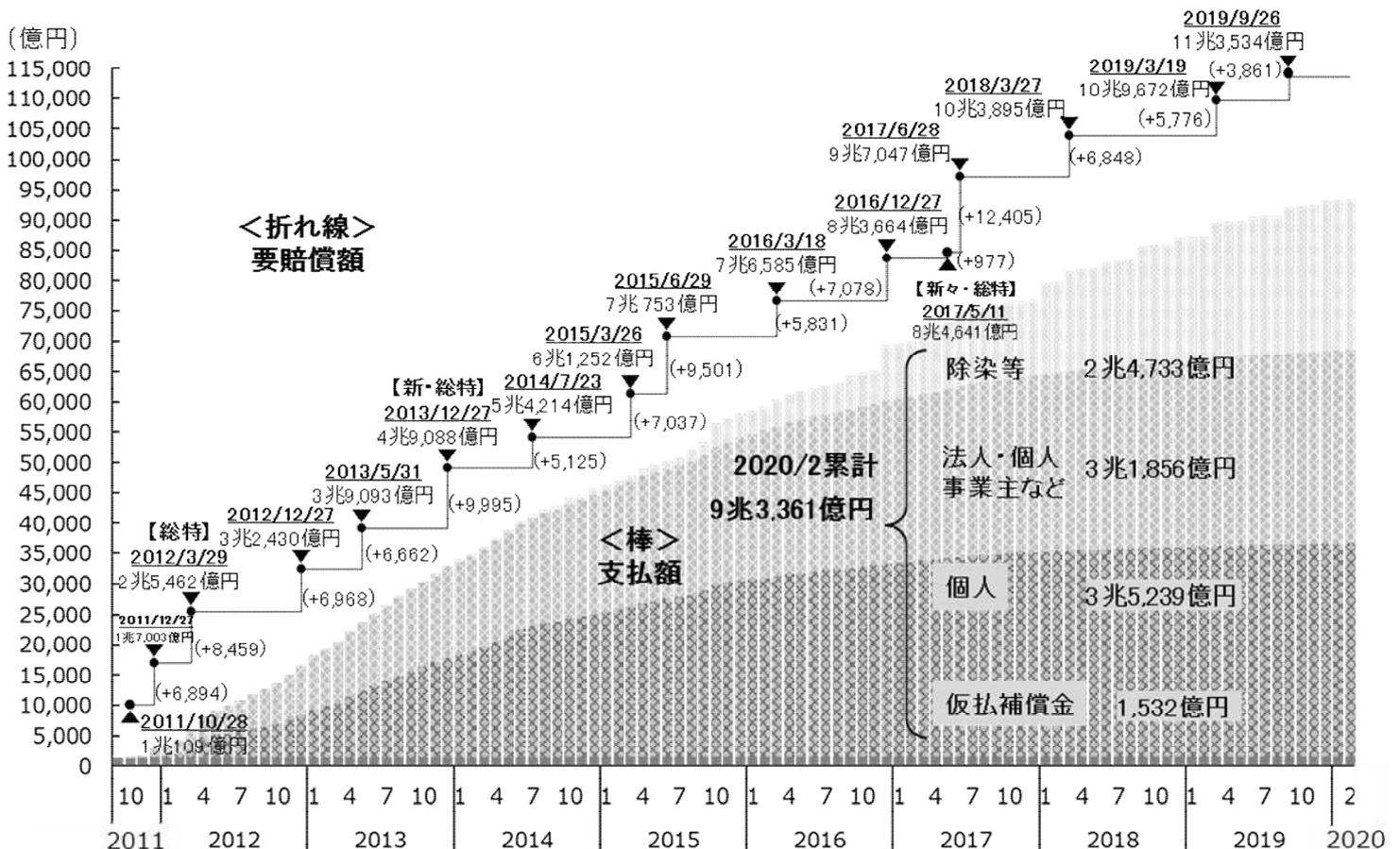
2020年2月29日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
<b>ご請求について</b>		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,422,000件	約508,000件
<b>本賠償の状況について</b>		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,288,000件	約436,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,239億円	約5兆6,590億円
<b>これまでのお支払い金額について</b>		
本賠償の金額 ※2		約9兆1,829億円 ①
仮払補償金		約1,532億円 ②
お支払い総額		約9兆3,361億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

## <賠償支払額及び要賠償額の推移>



## <賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (9/26資金援助額変更申請)	合意いただけの実績 <sup>※1</sup> <B> (2020年2月末現在)
<b>I. 個人の方に係る項目</b>	<b>20,698億円</b>	<b>19,913億円</b>
検査費用等	3,422億円	2,753億円
精神的損害	10,960億円	10,864億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,689億円	2,668億円
<b>II. 法人・個人事業主の方に係る項目</b>	<b>30,802億円</b>	<b>29,987億円</b>
営業損害	5,362億円	5,282億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,306億円	18,162億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,199億円	2,520億円
間接損害等その他	3,933億円	4,021億円
<b>III. 共通・その他</b>	<b>21,811億円</b>	<b>18,744億円</b>
財物価値の喪失又は減少等	15,134億円	14,096億円
住居確保損害	6,427億円	4,397億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
<b>IV. 除染等<sup>※2</sup></b>	<b>40,221億円</b>	<b>24,733億円</b>
<b>合計</b>	<b>113,534億円</b>	<b>93,378億円</b>

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

## <ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2020年3月11日現在

申立件数		25,702件
解決件数	全部和解件数	19,935件
	取下げ件数	2,778件
	打切り件数	2,152件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		835件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは25,587件(2月28日現在)

※当社に送達された件数は月平均で約99件(2019年度)

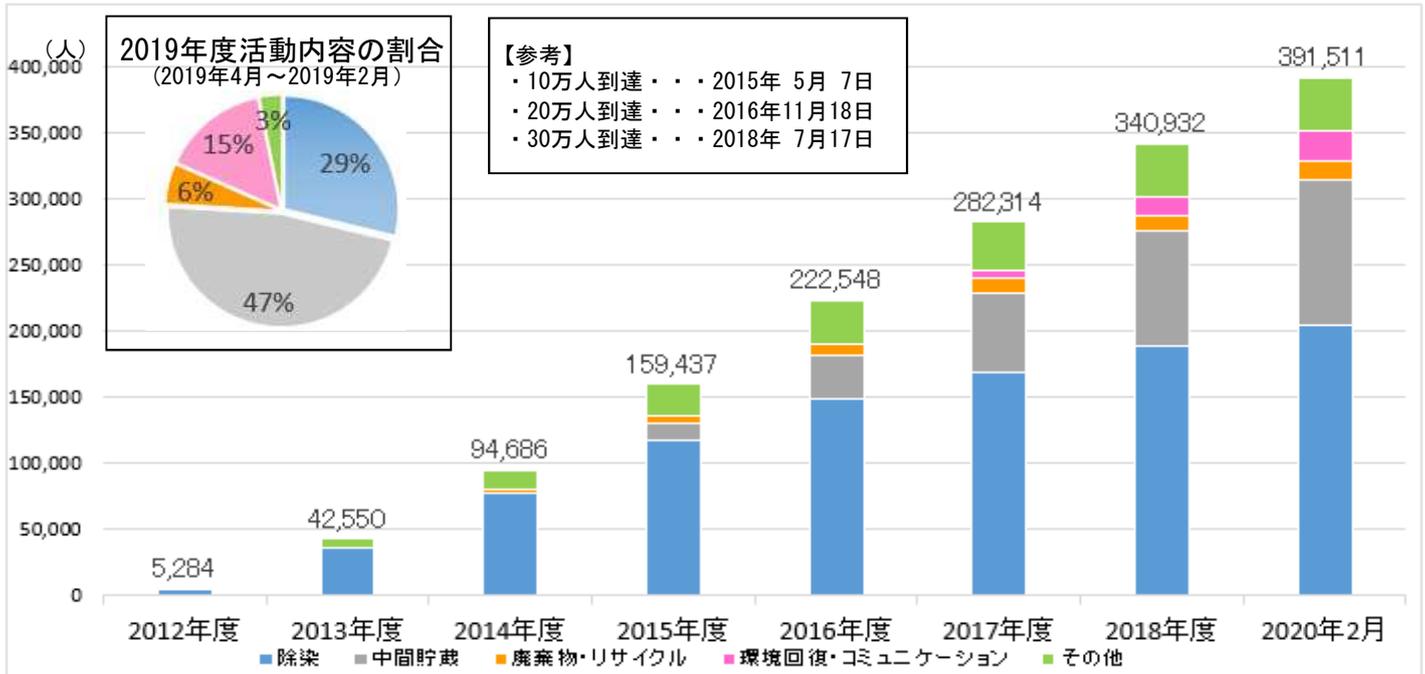
※現在進行中の件数のうち、18件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,272億円

## 2月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,013人 (24%)	1,961人 (47%)	303人 (7%)	699人 (17%)	199人 (5%)
2月の活動実績合計				4,175人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				391,511人

[活動内容別実績（累計）] 2013年1月～2020年2月



## 至近の主な取り組み



JR常磐線(富岡駅～浪江駅間)の  
運転再開に向けた対応

## JR常磐線(富岡駅～浪江駅間)の運転再開に向けた対応

**実施時期** 2019年12月20日 (2020年3月14日運転再開)

**実施場所** JR常磐線 富岡駅～浪江駅間 20.8km

**実施人数** 社員 延べ30人

**実施内容** 内閣府からの要請により、JR常磐線(富岡駅～浪江駅間)の運転再開に向け、同区間における列車内でのモニタリングを実施

- ・ 列車内の空間線量率測定結果：0.03～1.52  $\mu\text{Sv}/\text{h}$
- ・ 同区間1往復の被ばく線量：約0.32  $\mu\text{Sv}$ ※

JR常磐線(富岡駅～浪江駅)  
空間線量率測定結果  
車内窓側(西側)  
2019年12月20日測定



空間線量率マップ(列車内西側)

【引用元】 経済産業省ホームページ 原子力発電所事故収束に向けた道筋  
広域インフラ情報  
<URL> <https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release.html>



調査結果については、内閣府原子力災害対策本部が2020年2月28日に公表した

「JR常磐線(富岡駅～浪江駅間)の線量調査結果について(令和2年2月28日発表)」を参照

<URL>

<https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/infra/2020/200228zyoubansensenryoutyousakekka.pdf>

※胸部X線被ばく線量(1回あたり60 $\mu\text{Sv}$ )の約180分の1  
【出典】内閣府原子力災害対策本部公表資料(2020年2月28日)



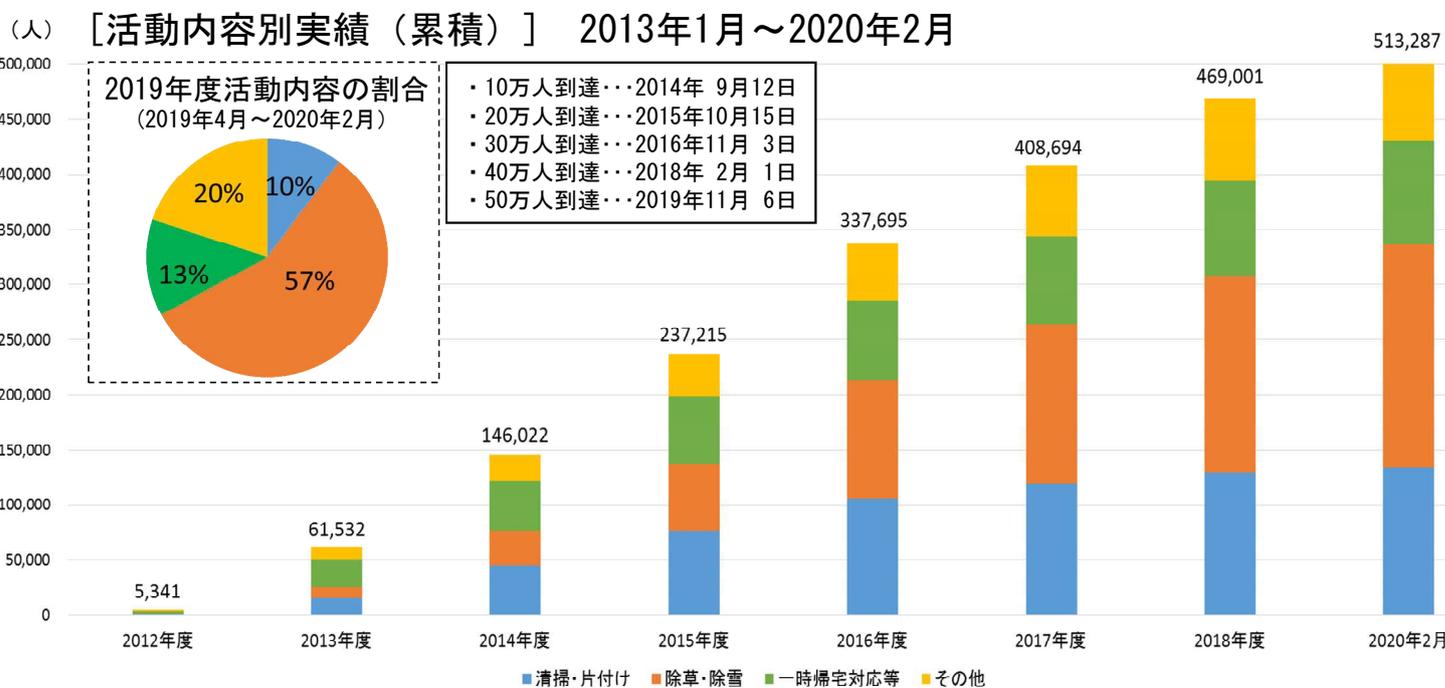
試運転中のJR常磐線列車



列車内モニタリングの状況

## 2月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助等)
			
184人 (8%)	1,236人 (52%)	423人 (18%)	538人 (22%)
2月の活動実績合計			2,381人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			513,287人



## 至近の主な取り組み



地域の歴史文化財や物品・資料等の搬出入への協力

## 地域の歴史文化財や物品・資料等の搬出入への協力

実施時期 2020年 2月12日、13日

実施場所 富岡町

実施人数 社員 延べ 8人

### 実施内容

- ・ 富岡町からのご依頼により、富岡町立富岡第二中学校に保管していた地域の歴史文化財や物品・資料等の搬出に協力（富岡第二中学校校舎は解体予定）
- ・ 物品・資料等は展示が予定されている「富岡町アーカイブ施設」<sup>※</sup>が完成するまでの間、一時保管のため町内3箇所の施設に搬入
- ・ 江戸時代後期からある御神輿や木製の農機具など古いものが多く、十分な養生を行い慎重に作業
- ・ 大型の物品や重量のある物品等は、富岡町役場の方々と協力して搬出入を実施

※2021年夏完成予定



地域で保管していた農機具等  
【2020年2月13日撮影】



物品・資料等の積込み  
【2020年2月12日撮影】



御神輿の搬出  
【2020年2月13日撮影】



御神輿の積込み  
【2020年2月13日撮影】

## 福島県産品の流通促進に向けた取り組み

### 【首都圏における福島牛フェアの開催】

- 3月より、浅草で130年の歴史を持つすき焼きの名店「ちんや」様をはじめ、再開発が進む渋谷に昨秋開業した「TEPPANYAKI 10 SHIBUYA」様など5店舗で福島牛フェアを開催
- フェアの情報には、30代から40代の方々を中心に支持が高いライフスタイルメディアである「東京カレンダー」の紙面およびWEBを通じて紹介
- 東京カレンダー様には、料理に合わせた日本酒の組合せを提案いただけるなど福島県産品の美味しさをお伝えするために様々な面でご協力いただいた



店名	住所	ジャンル	福島牛提供期間
ちんや様	台東区浅草1-3-4	すき焼き	2020年3月15日～4月13日
TEPPANYAKI 10 SHIBUYA様	渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア12階	鉄板焼	2020年3月21日～4月30日
CROSS TOKYO様	港区赤坂5-4-7 THE HEXAGON bldg. 10階	フレンチ	2020年3月15日～5月14日
TRATTORIA PINOLO様	台東区上野7-1-1 アトレ上野1階	イタリアン	2020年3月6日～5月14日
MURA BAR 銀座裏コリドー店様	千代田区内幸町1-6-4	バー	2/5～定番メニューとして提供中

※各店舗で提供されるメニューの内容や提供期間は、仕入れ状況等により変更となる場合がございます。



東京カレンダー5月号



紙面での福島牛フェア実施店舗のメニュー紹介

### 【クイーンズ伊勢丹様14店舗における福島県産品の販売】

日付：2020年2月20日（木）～24日（月・祝）

場所：クイーンズ伊勢丹様の1都2県14店舗

- クイーンズ伊勢丹様が開催する「東北うまいもの市」において、福島県産米、福島牛、常磐もの水産物などを販売し、昨年を上回る好調な売り上げとなった
- 福島県産品販売コーナーにおいては、店舗様が独自にご用意いただいた「発見! ふくしま」ロゴマークも掲示し、お客様の目を引いていた
- 福島牛は、品質の良さがお客さまに支持され、売り上げも好調に推移
- クイーンズ伊勢丹様では初となる常磐もの鮮魚も店舗限定で取り扱い、多くの方に手に取っていただいた



福島牛販売の様子(品川店)